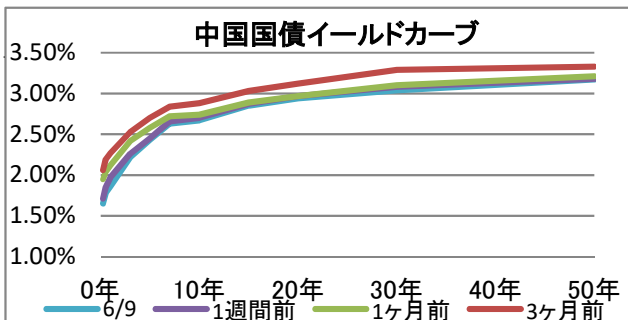
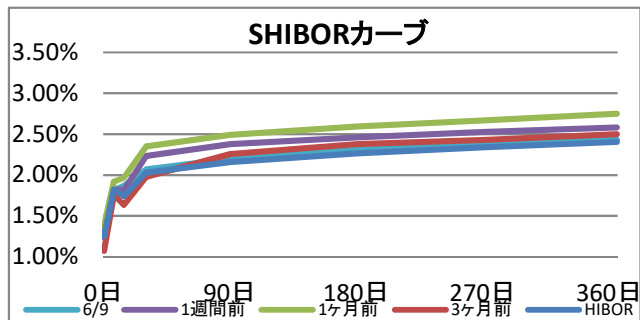


基準レート		2023/6/9	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1115	+0.0176
	JPY/CNY	5.1216	+0.0122
SHIBOR	3M	2.1610%	-0.0380%
国債利回り	10年	2.67%	-0.03%
上海総合指数		3,231.41	+1.34



(1) 概況

国際金融市場では、米国でのFOMCと物価統計を翌週に控えて神経質な展開が続く、債券市場では雇用統計の影響に加えて米国債増発懸念もあって週前半は弱気（利回り上昇）となり、株式市場も上値が重かったが、週後半には経済指標の悪化からFRBの利上げ停止期待が高まり、債券市場、株式市場ともに買戻しが入る展開に。外為市場では、レンジ取引が続いている。

中国市場では、貿易統計や物価指数の弱さを受けた景気減速懸念は根強いものの、預金金利引下げや新エネルギー車への補助継続等の政策期待もあり、株価は弱含みの中で概ね横這い圏内で推移し、債券利回りは短期ゾーンを中心に低下。為替市場では、貿易統計の悪化や景気減速懸念、金利差拡大見通し等を背景に元安が進行。

中国では、李強総理が国务院常务会议で新エネルギー車購入減税措置の延長・改善の方針を示し、韓正国家副主席はロンドン市長と会談で英金融セクターとの更なる協力強化の意向を示し、上海で開催された陸家嘴フォーラムでは、易綱人民銀行行長が上海国際金融センター建設やグリーン金融の発展支援方針を、李雲沢・国家金融監督総局長は、金融の対外開放推進のほか金融監督管理に関して「全面的にカバーし、例外を設けない」とし、易会満・証監会主席は、金融改革の先頭としての上海の金融資本市場、商品、機関、インフラ等の体系を一段と改善する方針を示した。国有商業銀行が、再度の預金金利引下げを実施したほか、一部では、当局が元安進行抑制を目的に、国有銀行に対しドル預金金利の上限引下げを指示したとの報道もあった。この間、上海・深圳証券取引所では、「海外証券取引所との相互接続によるグローバル預託証券の上場・取引に関する改定管理法（パブコメ）」を公表し、香港証券取引所は、今月開始する「香港ドル・人民元デュアルカウンターモデル（香港ドル建て証券と人民元建て証券の交換を可能化）」の対象リストを公表し、英資産運用会社シュローダーが、独資の公募ファンド運用会社開設の認可を取得。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日790億元に対して、リバースオペ億100元を実施し、ネットで 690億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・財経サービス業PMI (5月) は、57.1 (4月、56.4) と、サービス企業活動の回復持続により前月比上昇し、5か月連続で50を上回ったが、雇用の弱さが確認されている。また、総合指数も55.6 (4月、53.6) と前月比で上昇となった。
- ・CPI (5月) は、前年比+0.2% (4月、同+0.1%) と低い伸びとなった。旅行は、需要回復を反映して高めの伸びを維持したが、交通燃料がマイナス幅を更に拡大し、家庭用の耐久消費財や家賃も前年割れが続き、全体でも低い伸びに止まった。
- ・PPI (5月) は、前年比-4.6% (4月、同-3.6%) とマイナス幅を一段と拡大。生産財価格が国際商品市況や不動産市場等の低迷によるエネルギー関連・素材価格の下落により、消費財価格は、耐久消費財の販売不振等を背景に前年割れに転化し、マイナス幅を拡大。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2510%	1.2510%	1.5500%	
1W	1.8260%	2.2179%	1.6000%	
2W	1.7390%	1.9000%	1.9500%	1.6000%
1M	2.0310%	2.3000%	2.7000%	2.0500%
3M	2.1610%	4.2000%	2.2500%	2.0500%
6M	2.2660%	2.9000%	2.2000%	2.1500%
9M	2.3380%			2.2700%
12M	2.4040%	3.2000%		3.3300%

経済指標の悪化や銀行預金引き下げにより、通常は金利が上昇する四半期末が近づく状況ながら、金利水準は低位で安定している。ターム物の金利水準は四半期末越えとなる1ヶ月も2.1%前後の水準で出合っているが、その他の期間の出合いは限定的。

NCDの高水準での発行は続いているものの、金利水準は低位で安定しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月から3ヶ月までは2.0%台前半、6ヶ月が2.15%前後、1年が2.3%台前半で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.28%	5.30%
1W	5.38%	5.40%
1M	5.58%	5.60%
3M	5.65%	5.70%
6M	5.60%	5.70%
12M	5.70%	5.80%

翌週にFOMCや物価指標等の重要イベントを控えていることから、ドル預金金利引き下げ要請の報道の影響も限定的で、中国国内市場のビッドしっかりの展開に変化はなかった。ターム物の出合いは依然として限定的となっており、ターム物の金利水準は、1ヶ月は5.6%前後、3ヶ月は5.7%前後で取り引きされている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.65%		2.10%	2.20%	2.38%
6M	1.78%		2.14%	2.27%	2.45%
1Y	1.86%	2.03%	2.35%	2.43%	2.63%
3Y	2.22%	2.41%	2.66%	2.81%	3.41%
5Y	2.43%	2.62%	2.78%	3.04%	3.73%
10Y	2.67%	2.91%	3.02%	3.32%	4.09%

米国債券市場では、前週の雇用統計を受けた利回り上昇が続いたものの、週後半の経済指標の悪化、特に新規失業保険申請者数の増加を受けて買戻しが入り、利回り上昇は一服。中国債券市場では、改善が伝えられた財新サービス業PMIも雇用回復の遅れを示唆し、貿易統計や物価統計も景気先行きへの懸念を強める内容となり、銀行預金金利の引き下げもあって、利回りは短期を中心に低下が続いている。

米国の10年国債利回りは3.74%（前週比+5bp）に上昇し、10年中国国債利回りは2.67%（同、-3bp）に低下したことから、利回り差は+107bp（同+8bp）へと拡大に転じている。

中国債券のイールドカーブは、短期を中心とする全体的な下方シフトによるブルスティープニングとなった。クレジットスプレッドは、利率債の低下がやや大きい状況となっており、小幅ながら拡大している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-232.4 / -231.0
3M	-701.5 / -701.0
6M	-1353.0 / -1351.0
9M	-1928.0 / -1916.0
12M	-2423.0 / -2416.0

対ドル基準レートは7.1115と前週末比+176pipsのドル高元安、対円基準レートは5.1216と同+122pipsの円高元安と、市場での元安の流れを受けた設定が続いた。中国国内市場では、政府が元安を容認しているとの認識から、配当支払いに伴う外貨需要や金利差拡大等を材料に昨年11月以来となる7.14台まで上昇していたものの、中国人民銀行高官が人民元安定化への自信を示したことから、翌週の米国での重要イベントを控えて、7.12台に戻して週末を迎えている。

先物は、週初から米中金利差拡大を織り込む動きとなり、週初はドル金利上昇への懸念から、その後は人民元金利の低下を映じる格好で、1年ものは-2400台まで徐々にマイナス幅を拡大する展開となった。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.98%		1.67%
6M	2.00%	2.17%	1.68%
9M	2.03%	2.23%	1.69%
1Y	2.06%	2.25%	1.71%
3Y	2.29%	2.53%	2.03%
5Y	2.50%	2.80%	
7Y	2.64%	2.96%	
10Y	2.77%	3.10%	

スワップ金利は、総じて水準が低下する中でも、長めの期間の低下幅が相対的に大きくなっており、スワップスプレッドも、長めの期間を中心に一段と縮小している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。